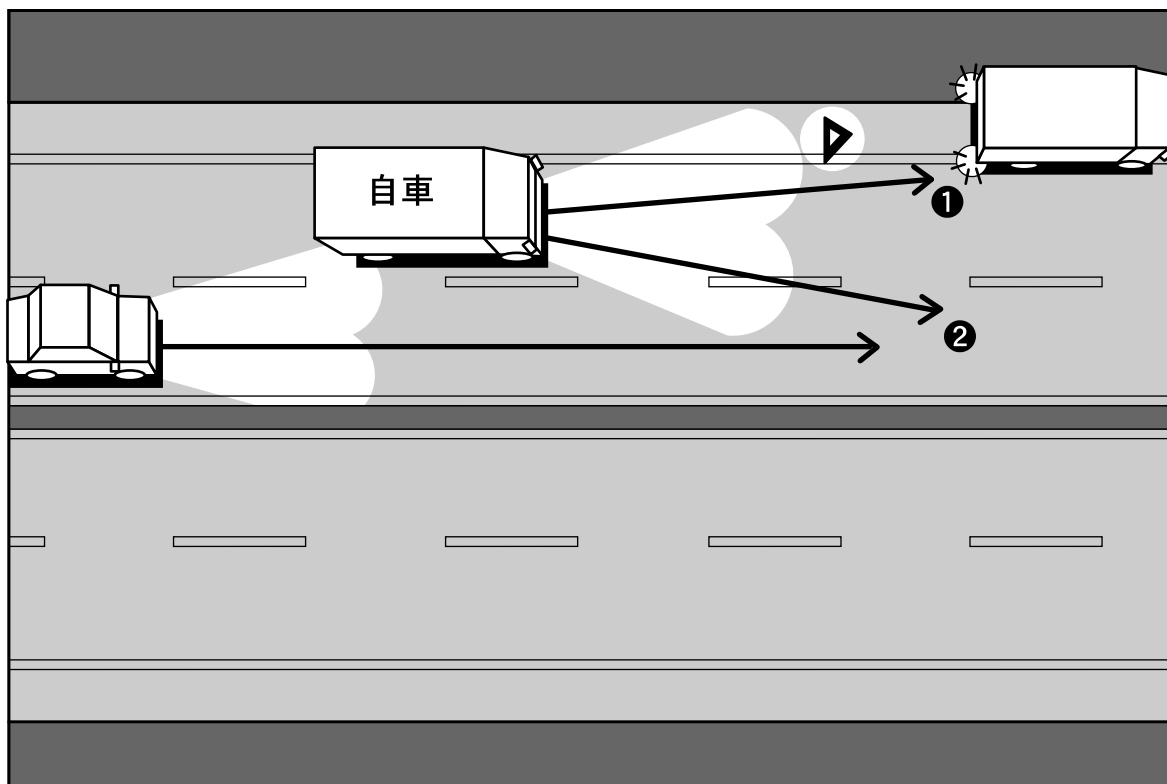


〔トラック4〕夜間の高速道路を走行



1．主な危険要因の例

- ① 前方の路肩に停止している故障車に気づくのが遅れると、衝突する危険がある。
- ② 故障車を避けるために、後方の確認もせず急な進路変更をすると後続車と衝突する危険がある。

2．安全運転の例

前方の状況に注意して、故障車等の障害物をできるだけ早めに発見するよう努める。

故障車の直近での急な進路変更はきわめて危険なので、故障車を発見したら早めに進路変更をする。

進路変更をするときは、必ず後続車の有無を確認する。

3．乗務員指導のポイント

夜間は故障車等の発見が遅れがちになるので、常に前方によく目を配り状況を早目に把握するよう努めるとともに、故障車等の障害物を発見したときも早めに進路変更するなどの措置をとるよう指導する。

夜間は故障等で停止している車を走行車両と錯覚し、追従しようとして追突するというケースもあるので、そうした錯覚を起こさないよう常に意識を高い水準に保って走行するよう指導する。